

## 研究所の事業

財団法人生存科学研究所は、研究所創設の精神と目的に基づき、生存科学に関連する自主研究、各種の内外研究機関・大学・中央官庁・地方自治体等との共同研究、また公益信託武見記念生存科学研究基金との協力による『生存科学シンポジウム』の開催、生存科学研究・普及のための国際的シンポジウム・講演会の開催、研究誌『生存科学』はじめ各種の出版・広報活動等の事業を行い、また、当研究所の目的に添った学会に密接な協力をしております。

自主研究はじめ各種の研究は、「研究所の組織図」に示す体制の下で研究に取り組んでおります。それは大きく分けて、

- (1) 人間の生命と地球環境に関わる総合的な生存モデルの研究
- (2) 医療資源の開発と配分に関する研究
- (3) 人間の全ライフサイクルを通じる健康投資モデルの研究
- (4) 地域・年齢・疾病特性に関わる健康政策の研究
- (5) 上記各調査研究の成果に関する国際学術交流
- (6) 上記各調査研究に関連して必要となる調査研究

とであります。

各研究グループのなかには、それぞれ幾つかの研究委員会が所属しています。その中の一部は、研究所と同一精神に基づき活動している公益信託武見記念生存科学研究基金との協力により研究が行われております。

なお研究所の具体的研究実績は別冊の資料編に掲載いたしてありますので、ご参照ください。